

【セカンドキャリア教育プログラムについて】

岩手県立大学大学院・総合政策研究科では、地域貢献の一環として、社会人の方々に対して学術的・専門的な知識・知見・技術を提供する「セカンドキャリア教育プログラム」を開講しています。プログラムのテーマは年度によって異なり、2026年度は「ビジネススキルアップコース」と「EBPM 特別研修コース」の2コースを開講します。本コースは総合政策研究科の博士前期課程の授業科目群から選定した科目であり、ビジネススキルアップコースは5科目、EBPM 特別研修コースは3科目を合わせて受講することで、社会人にとって必要なスキルとして活用できると考えています。両コースの詳細（目的／科目構成／開講日程）については、それぞれの説明をダウンロードしてください。

どちらのコースも、授業はすべて週末開講で、教室はアイーナ7階の県立大学アイーナキャンパスです。本プログラムは岩手県立大学の科目等履修生制度を利用しています。科目等履修生制度の詳細は大学ホームページを参照してください（ホーム > 学生生活 > 科目等履修生、聴講生、研究生）。なお、前期科目履修のための出願期間は早いので、注意してください。

<https://www.iwate-pu.ac.jp/living/gslife/other/to-society.html#info3>

【社会人の方の総合政策研究科の活用方法】

社会人の方が岩手県立大学総合政策研究科の教育資源を利用するには、いくつかの方法があります。各制度の特徴を以下に示します。大学ホームページに各制度の詳細な説明があります。

1. 社会人学生として入学し、修士号取得を目指す

これは、4年生から進学して大学院に入学する学生と同じです。複数の授業科目の単位を修得し、最終的には修士論文を作成してから卒業します。修士の学位を得ることができます。ただし、働きながら修士号を目指すためには時間的な困難があるため、社会人の場合には長期履修制度を利用することを勧めます。これは、2年分の授業料で、在籍期間を3～4年に延ばせる制度です。

2. 研究生

授業を受けることはできませんが、教員から研究指導を受けることができます。研究を進めるために必要な大学設備（大学院生室、図書資料、実験室、等）も使用できます。修士の学位を得ることを目的とせず、自身の社会人経験を研究論文にまとめたい、趣味として研究に取り組んでみたい等、研究活動を主目的とする人に向いています。授業科目を履修しないぶん、通常の学生よりも学費が安く済みます。

3. 科目等履修生（セカンドキャリア教育プログラムも含む）

研究目的ではなく、大学院の授業を受けてみたい人に向いています。大学卒業から時間が経ったが改めて社会問題等を学術的に学んでみたい人、自身の勤務において活用できそうな知識を得たい人に向いています。学費は単位数に応じて計算されます（1講義科目は通常2単位）。

また、修士号取得にも関心があるが、まずは大学院の授業レベルに自分がついて行けるか確認したい、自分の関心のある研究テーマを指導してもらえる教員がいるか確認したい、等の目的も考えられます。科目等履修生制度を利用して修得した授業単位は、その後に総合政策研究科に入学した際には、修了要件単位数に含めて計算することが可能です。そのため、入学後に履修する授業科目数を減らせるので、長期履修制度と合わせて利用すれば働きながらも修士号が取得しやすくなります。